中国の超人気テレビ番組・・・「スーパーガール」

G. W記者 （中国）

視聴者2億人の超人気番組とは？

２００５年夏、中国で最もホットな話題となったのが「スーパーガール」（日本語では「スーパー歌姫」といったところでしょう）というテレビ番組です。この番組は米国で放映されているオーディション番組「アメリカン・アイドル」に着想を得たものです。「スーパーガール」は、歌好きな女性なら、誰でも無料で出場できます。このため中国全土から、下は 6 歳から、最高齢は 89 歳までの 15 万人の女性が応募し、視聴者は 2 億人に迫る勢いという超人気の番組でした。さらに、視聴者が携帯電話で自分の好きな歌手に投票するという手法で、大衆参加型の番組を実現させました。

「スーパーガール」現象の3つの特徴

その「スーパー・ガール」現象には、三つの特徴があります。

１．Crazyなほどの応募者と応援者。一部報道によると、オーディション参加の申し込みのために学校を無断欠席した小中高生は数万人になりました。オーディションを目指し、極端なダイエットで衰弱死した少女の話も伝えられています。決勝前にはネットを通じて結成されたファンが、応援候補の写真やポスターを掲げて、通行人にミネラルウォーターやティシュを配って支持を訴えました。「〇〇〇に一票を！」と呼びかける風景は、日本の選挙運動のようなものになりました。

２．最終優勝の 3 人の中に入賞した2人は、男っぽくてボーイッシュな感じです。この二人は、女の子の中でも、男性の間でも、さらに年上、若者の間でも、すごく人気を集めています。

３．新しい若者言葉が誕生。 たとえば、「玉米」(「とうもろこし」という意味)や「盒饭」（「弁当」という意味）や「凉粉」（コメ粉をイモムシ状に固め、糖蜜をかけて食べるもの）などの単語は使われて、それぞれの歌姫のファンのことを意味しています。

2005 年、中国の経済は過去数年間の状況と同様に非常な発展を遂げました。この夏、過熱した経済とともに、人々は心が静かになれなくて、皆に注目されるものになろうと妄想しているのです。



第二位の歌姫：周笔畅 （左側）



チャンピオン李宇春（左側）は
黄梅劇の名作「天仙配」の
董永（男性主人公）を演じている

最後に

「スーパーガール」現象に対する俗っぽい文化のマイナス評価もあれば、民主的な選挙の実例というようなプラスもあります。私は個人的に「スーパーガール」現象の詳しいことははっきり分かりませんが、ただ、あの眩しい舞台に立って、千万人の注目を集めることは、女の子として生まれつき抱く夢だということは分かっています。夢想と言われてもいいし、妄想と言われてもいいし、幻想と言われてもいいし、この世の中で、自分がどんな心を抱えて生きていくのかが、一番大切なのではないかと思います。

（2006/03/06）